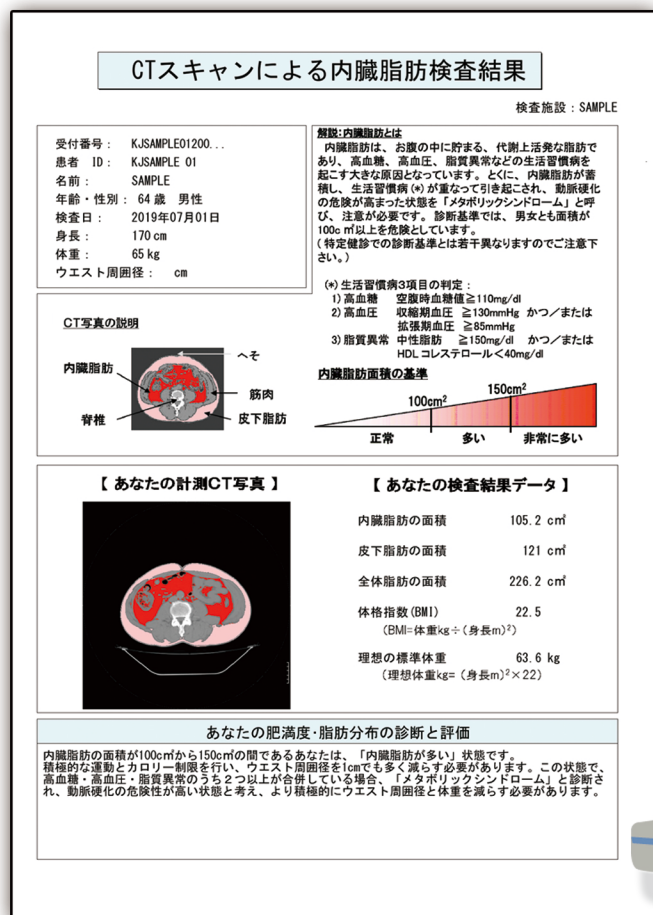


内臓脂肪低減作用確認試験

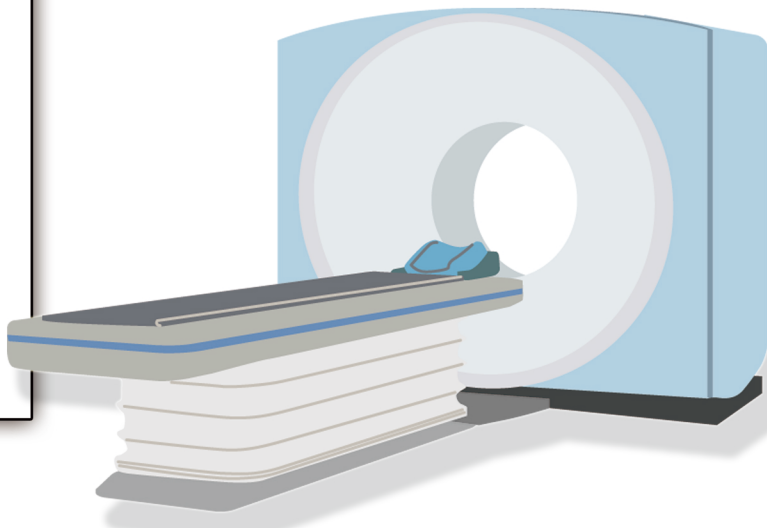
肥満や糖尿病を含むメタボリックシンドローム該当者の増加は、国民の健康水準の悪化や医療費の増大を招くことから、大きな問題となっています。メタボリックシンドロームの予防には、内臓脂肪の低減が重要です。内臓脂肪を含む体脂肪の測定を行うことで、食品の摂取による有効性を検証することができます。



CT(Computed Tomography)

検査対象に全方位から照射されたX線が一部吸収された後、それぞれの方向ではどの程度吸収されたか記録されます。その後CT装置は、データをもとにコンピューターで画像を再構成します。

PCソフトを用いて、CT画像より内臓脂肪面積(VFA)、皮下脂肪面積(SFA)、全脂肪面積(TFA)を算出します。
(画像提供:東日本技術研究所)



弊社では、スクリーニング検査時から内臓脂肪値を測定することにより適切な参加被験者を選抜することが可能です。

CT スキャンでは体脂肪試験経験豊富な放射線技師による内臓脂肪値測定を実施。また、統一マニュアルを使用することにより、技師間差の無い正確な測定が出来ます。

※In Body 470、In Body 770、DUALSCANを使用した測定も可能です。

生体インピーダンス法による測定で、In Bodyで体脂肪量・体脂肪率、DUALSCANで内臓脂肪面積を算出できます。



食品・化粧品のヒト試験受託企業

株式会社ケイ・エス・オー
<http://www.kso.co.jp>

〒105-0023

東京都港区芝浦 1丁目9番7号 芝浦おもだかビル7階
TEL: 03-3452-7733 FAX: 03-3452-7833